

# 子の食 夏休みピンチ

## 不安9割・現金給付望む

給食のなくなる夏休みは子どもも十分な食事を食べられない。子どもたちの食費支援を行うNPOが緊急アンケートを行い、困窮世帯へのすみやかな現金給付を政府に求めました。

(坂本ゆき子)

アンケートを行ったのは、NPO法人キッズドアの渡辺由美子理事だ。都内の東北で無料の学習支援を行っている団体です。コロナ禍で家庭への食料支援を始めました。6月28日から7月3日までに手続家庭を調査。1460件から回答がありました。

調査によれば、夏休み中の食費に不安を感じている家庭は約9割に達しました。不安の内訳は、72%が「食費のおかすをやり

もに栄養バランスの良い食事を与えられない」が76%、子どもが一人で食事をとらなければならぬ43%、子どもに十分な食事を与えられない40%、子どもの食事をとらざるため、親が十分な食事をとれない38%でした。

「コロナ前と比べて、食事の量や質の変化についても聞いています。量減り質も悪化

ゴールデンウィークにキッズドアの食料支援が届いた家庭の手紙から

**肉と魚うれしかった**  
わたしはふだん肉と魚をたべていないので、とてもうれしかったです。

**コメがなくなって...**  
ゴールデンウィーク中に米がなくなってしまうので、どうしようかと思っていたところでした。

**役場は「食費削減」と**  
役場に相談しても、月の食費は私と子3人で15000円と言うと「けずれませんか?」ということでした。助けてくれたのは、こういった支援だけです。

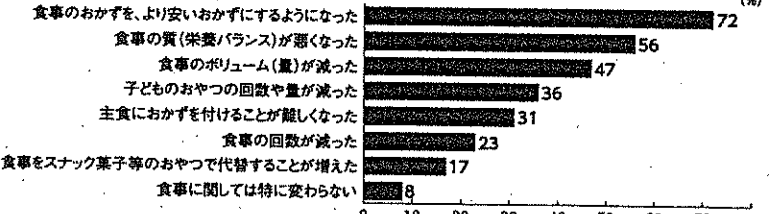
**自分の分を子どもに**  
食べ盛りの子も2人いるので、自分の分がなかりたりしていたのが、今回の給付で少しでも食べられました。

### コロナ禍・失業、1日1食も...

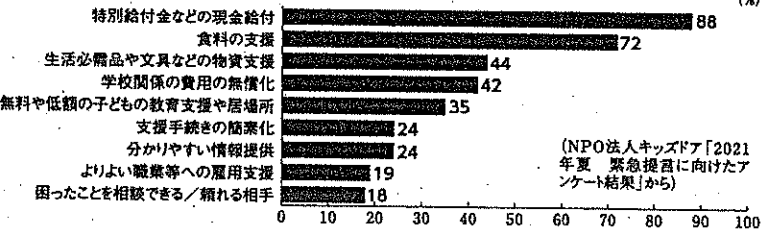


「調査対象の千代子さんの現金給付を待つ中、1日1食も食べられないという状況です。7月28日、厚生労働省から緊急給付金の通知が来ました。7月28日に厚生労働省から緊急給付金の通知が来ました。7月28日に厚生労働省から緊急給付金の通知が来ました。

コロナ以前と比較し、食事の量や質の変化 (複数回答)



必要な支援は何ですか? (3つまで回答)



### NPO法人キッズドア 調査し提言

きつくなりなりました。7月28日に厚生労働省から記者会見した渡辺さん「おかずがなくなると、おかげはんやしょうゆかけごはん、ちよっと度いとかけごはんなどという家庭、1日1食という家庭もありました。給食が支えていたギリギリの食生活が夏休みにも崩壊し、子どもたちの健康と成長に取り返しのつかない影響が出る危険がある」と話します。

「千円、数百円というお金が手元にありません。子どもも家族が給付金を出してはいますが、申請に必要な書類を役所でもらうための300円が出せないという相談を受けました。このお金があれば親子で「食食入らねる」と言ってます」

生活全般に影響アンケートによれば、2020年の収入が200万円未満の家庭が65%、21年はさらに減収するなどの家庭が7割、貯蓄額が10万円未満は51%と過半数に上りました。渡辺さんは「コロナ禍で3

割の世帯主が失業や転職を経験したと、1人10万円の特別給付金が昨年の1回だけだったことがあります。

食費以外にも、「家電・電気・ガス代等が払えなかった」32%、「学校関係の支払いが遅れた」38%など生活への影響が深刻になっています。

子どもの進路や将来についても、4割が受験を1校にしぼるなど「希望する進路に進めない可能性がある」と回答。「受験のために貯めていたお金を食費に回している」という声もありました。

「必要な支援」として「現金給付」をあげた人が88%、「食料の支援」72%、「生活必需品や文具などの物資支援」44%、「学校関係の費用の無償化」18%でした。

渡辺さんは「コロナのための手厚は4兆円残っています。状況を調査し、困っている子どもたちを支援するのは本来は政府の役割です。責任は負っています。でも決断し、追加の給付金を出してほしい」

「額が少なすぎる」渡辺さんらの取組が、政府は子育て世帯生活支援特別給付金(児童扶養手当給付金)への親以外の住民税非課税世帯に5万円を創設。ひとり親には毎月3万円、ひとり親以外は7月末に初めて振り込まれました。いずれも申請は不要です(家計調査時は必要)。しかし、現行の支援額は、55%が「もらえる額が少ない」と改善を求めています。